

# 文-47

## Vてはいけません

Vて は いけません

### 基 本

#### 例 文

- ① 子供は、お酒を飲んではいけません。
- ② この部屋に入っへ やてはいけません。
- ③ 病院の中びょういん なかで、携帯電話を使っけいたいでん わ つかてはいけません。
- ④ うそをついてはいけません。
- ⑤ ここで、たばこをすったばこてはいけません。
- ⑥ A: どうして、湯船の中ゆふね なかで体を洗っからだ あらてはいけないんですか。  
B: 湯船のお湯は、家族みんなが使うゆふね ゆ かぞく つかからです。



例文③

A. Vで表す行為を禁止する。(例文①～⑥)

B. 社会的なルールや家庭での約束で許されないことを述べるときに使う。(例文①～⑥)

先生へ

親、医者、教師などが、忠告の意味で使うことがある。この場合「よ」を付けることが多い。

例1 風邪ですね。注射しますから、今日は、お風呂に入ってはいけませんよ。

2 A: すみません。宿題を忘れてしまいました。明日でもいいですか。

B: 明日は、ぜったいに忘れてはいけませんよ。

「Vないでください」(p.117)との違い。

Vてはいけません	<ul style="list-style-type: none"> <li>強い禁止の表現。</li> <li>そのことを聞き手が拒否できない雰囲気がある。</li> </ul>
Vないでください	<ul style="list-style-type: none"> <li>それをしないように相手に協力を求める感じがある。</li> <li>禁止の表現としては、「Vてはいけません」ほど強くない。</li> </ul>

「Aくてはいけません」「AN/Nではいけません」の形もあるが、用法が違うので、ここでは扱わない。

意志動詞を使って練習させること。(p.278 参照)

【関連項目】

- 活-01 Vて形
- 文-29 Vないでください

【「れんしゅう編」の練習】

- 13-2 入ってはいけません
- 13-6 日本でホームステイ
- 14-5 ポートボール